



持久走大会～応援ありがとうございました～



五木東小
第24号

学校便り
文責
生田 文明

絶好の持久走大会日和となった十一月二十八日、低学年は、1km、中学年は、1.5km、そして高学年は、2kmの距離を全員、見事に完走しました。

当日の「テーマ作文」の題「持久走大会を前に今思うこと」では、「自己ベストを出す」「坂道でがんばる」「後ろを向かず前の人について行く」など、一人一人が出発を前にした決意を書きました。

大会が始まり、それぞれがスタートすると、今までで一番良い走りを見せてくれました。自己ベストタイムを更新する児童が何人もいて、中には練習の時より一分も早くゴールできた児童もいました。その上、一年・五年の女子の部では歴代記録が更新されました。

保護者・地域の方々が大勢駆けつけられ、沿道から子どもたちに大きな声援が寄せられました。この声援が背中を押し、子どもたちは持てる力を十分発揮することができたと思います。ありがとうございました。

また、PTA体育委員の皆さんには、子どもたちが安全で安心して走ることができるように、コースの要



所に立っていただき、本大会を支えていただきました。ご協力ありがとうございました。次年度も自己記録の更新を期待し、これからも毎朝のランニングに力を入れていきます。



あじつお宝大作戦 ～児童総会で決定～

十一月二十一日に児童総会を行いました。総会の議題は「あじつ お宝 大作戦」です。

子どもたちは、「先生や友だちには挨拶はできるが、お客さんや地域の方にはあまりできていない」という実態を踏まえ、いつでも・どこでも・だれにでも、あいさつができるようにするにはどうしたらよいか、そのための方策について考えました。

今回、企画委員が考えたのが、この「あいさつ お宝 大作戦」です。企画委員が挨拶チェックを行い、挨拶への意識を高めることをねらっています。

総会では、まず、企画委員が実施した挨拶アンケートから見えてきた課題を報告し、その課題解決のために行う「あいさつ お宝 大作戦」の方法と効果について全児童に説明しました。

その後、この提案を受け、議題として提出された「あいさつ お宝 大作戦」の実施の有無について、全員で協議しました。

自分の立場を明確にして、ペアトーク、



割り班によるグループトーク、そして全体トークを行い協議を重ね、最終的には十四対十八の多数決で、本議案は否決されました。趣旨には賛同するが、方法やチェック基準が問題となり、否決されてしまいました。

そこで、企画委員は、総会での意見をもとに修正案を作成し、臨時総会（二十八日の昼休みに自主的に実施）に臨みました。この修正案を一部変更することで可決でき、実施の運びとなりました。今は、挨拶がよくできたら、お宝をもらい、各学級の宝箱に貼っているとします。

自分たちの課題に気づき、それを改善する方策を自分たちで考え・実行することは、主体的な態度を育て、自治へとつながります。今後このような活動を推進していきたいと思っています。

お弁当の日



今年も、お弁当の日を定め、「お家の人と一緒に買い物に行く」のコースから「自分でメニューを考え、自分で作る」の十コースまでのの中から自分ができるコースを選んで、お弁当づくりにチャレンジしました。

「ぼくは、卵焼きを作りました」「ウインナーを焼きました」「ポテトサラダを作りました」など、子どもたちは、いろんなことにチャレンジして、主食・主菜・副菜の量や彩りも考えたお弁当を作ってきました。

各家庭のご協力があったからこそできたお弁当の日です。今後とも食育推進のため、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

